

<p>【教材・教具名】 ポットン落とし</p>	<p>【教科・領域】 自立活動（生活単元学習の中で）</p>
<p>【教材の使用材料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空き箱</li> <li>・ 楕円形の木の棒を長さ 6 cm と 1.5cm にカットしたもの</li> <li>・ ラミネート</li> <li>・ 割り箸</li> <li>・ 厚紙</li> <li>・ セロハンテープ</li> </ul>	<p>【購入場所】</p> <p>木片（知り合いより購入） 割り箸（100 円ショップ）</p>
<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生単で木片を使って作品作りを行う際の待ち時間のサブ教材として、集中できる教材を準備した。</li> <li>・ 目と手の協応動作の向上。</li> <li>・ 集中して指先を使う時間を設定する。</li> </ul>	
<p>○使用方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上部の顔にある目と口の穴に木を差し込み、押し込んで落とす。</li> </ul> <div data-bbox="836 1084 1123 1294" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1123 1016 1437 1240" data-label="Image"> </div> <p>○工夫した所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ つまみやすい木片の大きさにした。</li> <li>・ けがをしないよう角の取れた木片を使用する。</li> <li>・ 落とす手応えを感じられる穴を開け、筒を透明な作りにして木が落ちる様子を見られるようにして、自分の動作とともに物が落ちるという仕組みが分かるようにした。</li> <li>・ 穴の大きさを変えることで、片手の中で木を持ち替える動きを引き出すようにした。</li> <li>・ 座位で取り組んだときに、木の入れ口が見えて、かつできるだけ筒部分が長くなるギリギリの高さにして楽しめるようにした。</li> </ul>	
<p>○効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業中の待ち時間に手持ち無沙汰になる児童が、繰り返し取組み静かに待ち時間を過ごすことができていた。</li> <li>・ 日頃自発的な活動が少ない児童が、10 個程度の木を一人で続けて入れて楽しむ姿が見られた。</li> </ul>	
<p>○参考文献・URL</p>	

教材・教具写真

